

専任教員の教育・研究業績

所属 スポーツ科学部	職名 准教授	氏名 長江 晃生	大学院における研究 指導担当資格の有無	無		
I 教育活動						
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概 要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)						
バレーボール I	平成26年～	授業後にチームでミーティングを行わせることで、改善点と習熟度を確保させている。				
2 作成した教科書、教材、参考書						
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
4 その他教育活動上特記すべき事項						
II 研究活動						
著書 (単著)						
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月	
著書 (共著・分担執筆)						
題目/書名	著者/編者	初(始)頁～終頁	発行所	発行地	発行年月	
バレーボールのレセプションに関する事例的研究-0大学のレセプション及びレセプションアタックについての年次比較-	◎長江晃生、浅井正仁、柏森康雄	63頁～75頁	大阪体育大学紀要46巻	大阪体育大学	平成27年3月	
バレーボールのディフェンスパフォーマンスに関する事例的研究-0大学の春秋リーグ戦のブロック及びディグについての比較-	◎長江晃生、浅井正仁、	25頁～39頁	大阪体育大学紀要48巻	大阪体育大学	平成29年3月	
原著論文 (審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。)						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月	
総説						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月	
その他 (「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)						
区分	題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月
学会発表 (「国際学会」、「国内学会 (一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等)」、「研究会」等区分を記入)						
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名	
科学研究費等の取得状況						
科学研究費/その他の助成金/外部資金						
区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額 (期間内の総額)	
特許						
特許名称	発明者/出願人	出願日/出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国
III 加入学会および社会における活動						
期 間	内 容					
加入学会						
平成28年～	日本体育学会 会員					
社会的活動						

IV 管理活動			
期 間	内 容		
委員会活動			
平成27年～	日本バレーボール協会 強化事業本部科学研究委員会 委員		
平成28年～	全日本大学バレーボール連盟 女子強化委員会 委員		
平成28年～	関西大学バレーボール連盟 強化指導普及委員会 委員		
平成29年～	大阪府学生バレーボール連盟 理事		
平成30年～	日本オリンピック委員会強化スタッフ		
特別プロジェクト活動			
V クラブ活動の指導業績			
1. 指導クラブ名	女子バレーボール 部	2. 役職	2016～ 監督
3. 部員数	26 人		
4. 現場指導の頻度	① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない		
5. 合宿指導	年間合宿回数： 2 回	延べ日数： 10 日	
6. クラブの競技力向上への取り組み	① ①積極的に取り組んでいる ②ある程度取り組んでいる ③あまり取り組んでいない ④全く取り組んでいない		
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	① ①積極的に取り組んでいる ②ある程度取り組んでいる ③あまり取り組んでいない ④全く取り組んでいない		
8. 部員の就職指導への取り組み	② ①積極的に取り組んでいる ②ある程度取り組んでいる ③あまり取り組んでいない ④全く取り組んでいない		
9. 年間の引率公式大会名	大会名	期 間	場 所
	関西大学バレーボール連盟春季リーグ戦	4月～5月	関西
	西日本バレーボール大学女子選手権大会	6月	大阪、兵庫、広島
	関西大学バレーボール連盟秋季リーグ戦	9月～10月	関西
	関西バレーボール大学女子選手権大会	11月	関西
	全日本バレーボール大学女子選手権大会	12月	東京
10. クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)			
開催期間	大会名	成 績	場 所
平成28年12月	天皇杯・皇后杯・全日本バレーボール選手権大会	ベスト16	東京
VI 賞罰(職務に関する賞罰)			
年 月	受賞等機関名	内 容	備 考